

ジャンボタニシの被害対策を行きましょう！！

- ジャンボタニシの越冬の可否が、次年度の被害の有無に直結します。
- 今年度の被害は少なかったですが、次年度に向け、対策を実施しましょう。



水田ほ場

被害が甚大であったほ場は重点的に実施しましょう！！

● 未発生ほ場へ貝の持込みに気を付けましょう！！

POINT

- ・ 土壌改良材散布や耕起は、ジャンボタニシ未発生ほ場から始めましょう。
- ・ ジャンボタニシの発生ほ場の作業後は、機械の清掃を実施しましょう。
- ・ 清掃後、地面等に落ちた貝は拾い集め、確実に廃棄しましょう。

● 冬季耕起は厳寒期に実施しましょう！！

POINT

- ・ 地中に潜った貝を掘り起こすために冬季耕起を複数回実施し、貝を寒さに当て駆除しましょう。
- ・ 耕起時は、トラクターの走行速度を遅くし、ロータリーの回転を速く、浅く耕起するようにしましょう。可能であれば、ハローで作業するのが望ましい。

● 石灰窒素散布は慎重に実施しましょう！！

POINT

- ・ 水温 15℃以上、かつ、3～4 日以上湛水が可能なほ場で実施しましょう。
- ・ 魚毒性が高いため水路へ流出しないように、散布後は 1 週間以上田んぼの水を保ちましょう。

水路

被害甚大ほ場周辺や、泥が溜まりやすい水路は、重点的に実施しましょう！！

● 落水後の集中駆除を実施しましょう！！

POINT

- ・ 水路の泥上げ時は、貝を拾い集めゴミ袋で廃棄したり、貝をつぶすことで確実に駆除するようにしましょう。
- ・ 暖かい水や泥が溜まる場所は、貝が集まりやすいため、集中的かつ効率的な駆除作業ができます。
- ・ 越冬しやすい 2～3cm 程の小さい貝も確実に駆除しましょう。
- ・ 駆除時は手袋をはめ、直接貝や卵に触れないように注意しましょう。

